

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	急性期脳卒中患者における栄養摂取状況が基本動作および歩行自立までの到達時間に及ぼす影響	
1. 研究の目的と方法	<p>本研究の目的は、脳卒中を発症した直後は、安静にしても体が多くのエネルギーを消費する「代謝亢進※1」という状態になりやすく、筋肉が落ちやすいことが分かっています。リハビリテーションで歩行などの動く能力を早く回復させるためには、この時期に適切な「栄養」を摂ることが非常に重要だと考えられます。これまで多くの研究では、退院時に「歩けるようになったか、どうか」という点に注目してきました。しかし、リハビリの計画を立てる上では、「いつまでに歩けるようになるか（回復のスピード）」を知ることがより重要です。本研究では、発症後1週間以内の食事（エネルギーやタンパク質）の摂取量や体の状態が、「歩行や身の回りの動作が自立するまでの早さ」にどのように影響しているかを明らかにすることを目的としています。この研究によって、患者さん一人ひとりの状態に合わせた、より効果的な栄養管理とリハビリの進め方を検討するためのヒントが得られると考えています。</p> <p>※1 代謝亢進（たいしゃこうしん）とは 病気によるストレスや炎症により、普段よりも体がエネルギーを激しく消費してしまう状態のことです。</p> <p>この研究は、過去の記録を振り返って調査する「後ろ向き調査」という方法で行います。調査にあたっては、お名前などの個人が特定できる情報はすべて取り除き、番号に置き換えて管理します（匿名化）。また、分析結果は学会や論文などで公表されることがありますが、患者さんの個人情報が出ること是一切ありません。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	(1) 2020年4月1日～2025年12月31日までの期間に、東京慈恵会医科大学附属病院の脳神経内科と脳神経外科に入院した18歳以上の患者さん (2) 入院時に脳卒中（脳梗塞、脳出血）と診断された患者さん (3) 急性期治療および急性期リハビリテーションが実施された患者さん	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、栄養の状態（食事や点滴から摂取したエネルギーやたんぱく質の量）、リハビリの経過（リハビリ内容や、歩行・動作が自立した日など）
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。	

	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 リハビリテーション科
	氏名	戸川樹希亜
(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年6月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科 研究責任者：戸川樹希亜（とがわ じゅきあ） 窓口担当者：戸川樹希亜（とがわ じゅきあ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3661） 対応時間：平日午前9時～午後5時／休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。